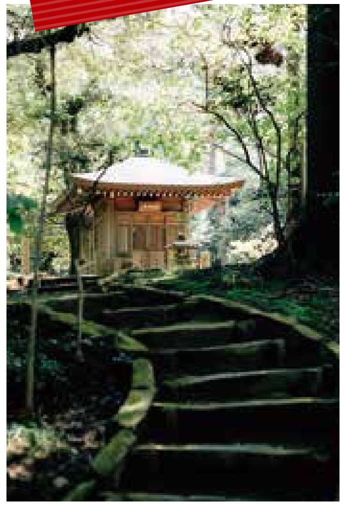
山代温泉 検索

2024年3月16日
北陸新幹線
延伸開業！
（金沢～敦賀）
東京～加賀温泉
2時間43分



あいうえおの郷

九谷焼とあいうえおの郷
山代温泉
加賀温泉郷

www.yamashiro-spa.or.jp

北陸・加賀温泉郷
やましろおんせん

発行／一般社団法人 山代温泉観光協会 〒922-0243 石川県加賀市山代温泉北部3丁目70番地 TEL0761-77-1144 FAX 0761-77-2109
制作・印刷／Takeuchi Printing,Inc.(Kaga) このパンフレットに記載されている情報は令和6年5月現在のものです。予告なく変更される場合がありますので、ご了承下さい。

不許複製・禁無断転載

行き帰り、旅は全部つながっている。

自動車で　片山津I.C・加賀I.Cまで

- **東京—片山津I.C**［約5時間40分／約494km］
  関越自動車道→藤岡JCT→上信越自動車道→上越JCT→北陸自動車道
- **東京—加賀I.C**［約5時間35分／約522km］
  東名・新東名高速道路→名神高速道路→米原JCT→北陸自動車道
- **大阪—加賀I.C**［約2時間50分／約250km］
  名神高速道路→米原JCT→北陸自動車道
- **名古屋—加賀I.C**［約2時間20分／約210km］
  名神高速道路→米原JCT→北陸自動車道
- **米原—加賀I.C**［約1時間25分／約130km］
  北陸自動車道
- **新潟—片山津I.C**［約3時間40分／約335km］
  北陸自動車道
- **長野—片山津I.C**［約3時間30分／約290km］
  上信越自動車道→上越JCT→北陸自動車道
- **金沢—片山津I.C**［約20分／約32km］
  北陸自動車道

●加賀I.Cから山代温泉まで車で約10分
●片山津I.Cから山代温泉まで車で約15分

飛行機で　小松空港まで

羽田—小松	約1時間／1日10往復
札幌—小松	約1時間35分／1日1往復
福岡—小松	約1時間30分／1日4往復
那覇—小松	約2時間20分／1日1往復
台北—小松	約3時間00分／1日1～2往復
ソウル—小松	約1時間55分／週3便1往復
上海—小松	約2時間05分／週2便1往復

※国際便は季節運行がありますので事前にご確認ください。
●小松空港から山代温泉まで車で約25分
●小松空港からJR加賀温泉駅までバスで（5往復）約25分
※キャン・バス小松空港線利用

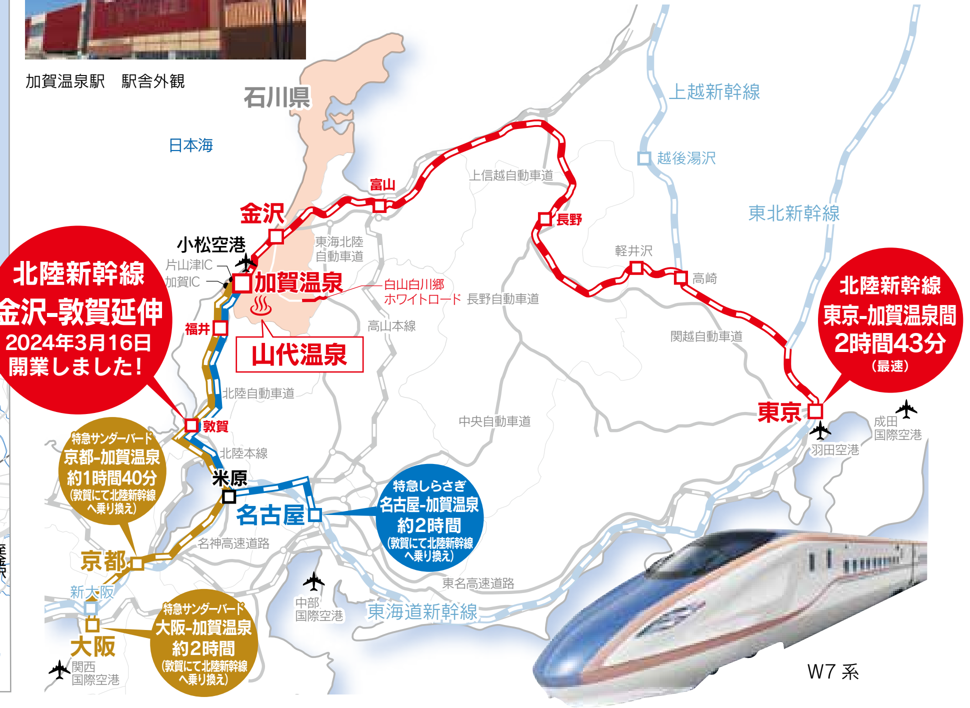
鉄道で　加賀温泉駅まで

- **東京—金沢—加賀温泉駅**［約2時間43分］
  北陸新幹線にて直通
- **東京—米原—加賀温泉駅**［約3時間45分］
  東海道新幹線→（米原乗換）→北陸本線特急→（敦賀乗換）→北陸新幹線
- **大阪—加賀温泉駅**［約2時間00分］
  北陸本線特急→（敦賀乗換）→北陸新幹線
- **京都—加賀温泉駅**［約1時間40分］
  北陸本線特急→（敦賀乗換）→北陸新幹線
- **名古屋—加賀温泉駅**［約2時間00分］
  北陸本線特急→（敦賀乗換）→北陸新幹線
- **金沢—加賀温泉駅**［最速16分］
  北陸新幹線にて直通

交通情報は必ず最新情報を確認の上、ご利用ください

●加賀温泉駅から山代温泉まで車で約10分
※送迎サービスあり（一部旅館除く）

加賀温泉駅　駅舎外観



山代温泉旅館協同組合加盟旅館

あらや滔々庵	0761-77-0010	葉渡莉	0761-77-8200	湯快リゾート彩朝楽	0570-550-078
大江戸温泉物語Premium山下家	050-3385-8647	べにや無何有	0761-77-1340	ゆのくに天祥	0761-77-1234
温泉めい想倶楽部富士屋旅館	0761-77-1122	ホテルききょう	0761-76-1130	ゆ⁼の宿白山菖蒲亭	0761-77-0335
界 加賀	050-3134-8092	みどりの宿萬松閣	0761-77-1515	吉田屋 山王閣	0761-77-1001
加賀の宿 宝生亭	0761-77-1143	みやびの宿 加賀百万石	0761-77-0200	リブマックスリゾート加賀山代	0761-77-3060
彩華の宿 多々見	0761-77-2200	森の栖 リゾート＆スパ	0761-77-0150	瑠璃光	0761-77-2323
たちばな四季亭	0761-77-0001	雄山閣	0761-77-1400		

九谷焼とあいうえおの郷
山代温泉
加賀温泉郷
〒922-0243 石川県加賀市山代温泉
一般社団法人 山代温泉観光協会 TEL 0761-77-1144 FAX 0761-77-2109

山代温泉 検索

24.5.00001⑤

日本語「五十音図」発祥の地、山代温泉。

あいうえおの郷、山代温泉

山代温泉と五十音「あいうえお」にはとても深い関係があるのです。

比叡山延暦寺から薬王院温泉寺に移った明覚(みょうかく)上人は、古代インドの言葉を研究する学問、悉曇学の第一人者で五十音(あいうえお…)の創始者だと言われています。寛治7年(一〇九三)に明覚が書いた『反音作法』の中に現存する最古の五十音図が表されています。

そんな当時の最高レベルの知識人である明覚上人を慕う多くの学僧が、この山代の地、温泉寺に集まり日々修行をしながら学んでいました。

薬王院温泉寺の境内から背後の山、萬松園へ登る石の階段は「あいうえおの小径」と呼ばれ、石段には、五十音が記された九谷焼の陶板が一枚ずつはめ込まれており、その陶板をたどりながら石段を登ると、常緑樹の巨木が立ち並ぶ緑色濃い萬松園の中腹に、明覚上人を供養した五輪塔(国の重要文化財)が見えてきます。

「あいうえおの小径」は緑に囲まれた静かな小径、地元の人や観光客の自然散策路となっています。

明覚上人が眠る鎮守の森へ、あなたも足を運び「五十音図」の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

明覚上人を供養する五輪塔

薬王院温泉寺の境内の背後には周辺を散策できる「あいうえおの小径」が整備されており、明覚上人を供養する五輪塔(国指定重要文化財)があります。

あいうえ

「あいうえおの小径」の石段には五十音が埋め込まれています。

Topics 金沢〜敦賀間延伸

北陸新幹線で山代がぐっと近くなりました！

東京からのアクセス良好！

2024年春、北陸新幹線(金沢〜敦賀間延伸)が開業し、東京から加賀温泉までのアクセスが便利になりました！

山代温泉の最寄り駅「加賀温泉駅」も新幹線開通に合わせ、伝統的な街並みの紅殻格子や、瓦屋根、白壁の色彩を組み合わせた、「温泉郷の風情と城下町の歴史を感じさせる駅」として生まれ変わりました。また駅前に建設予定の全天候型広場施設「ガレリア」も2026年春にオープン予定と、ますます賑やかさを増します。

古くから「関西の奥座敷」の一つと言われ関西方面から多くのお客様にご利用いただいております山代温泉ですが、今回の新幹線開通で今まで訪れたことがなかった、関東方面からも多くのお客様をお迎えできるようになりました。

さぁ、この機会に新幹線に飛び乗って山代温泉へ訪れてみませんか！

ほらっ！

「山代温泉」を真ん中に置いてみれば、兼六園も、永平寺も、白川郷も、みんな日帰り圏内。山代温泉は北陸路のハブ温泉です。

金沢21世紀美術館

近江町市場

ひがし茶屋街

金沢

金沢駅

加賀温泉駅より特急で最速24分。2024年3月には北陸新幹線も開業し首都圏・関東地方からのアクセスが便利になりました。

加賀温泉駅から新幹線で 最速16分

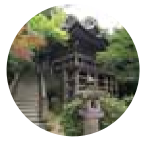
金沢城公園・兼六園

金沢のシンボル的空間として多くの県民に親しまれている兼六園は日本三名園のひとつ。四季折々の自然と、築庭の妙が織りなす景観を楽しむ事ができます。

車で 60分

霊峰白山遠景

伝統的建造物群保存地区加賀橋立


那谷寺

富山・岐阜

白川郷・五箇山

ユネスコの世界遺産に文化遺産として登録されている「合掌造り」と呼ばれる茅葺きの家屋は、国内の他地域にはない、五箇山と白川郷のみに現存する大変貴重な民家の形式です。

加賀温泉駅から金沢駅へ金沢駅よりバス乗換 105分

福井

永平寺

数多くの雲水たちによって、荘厳な雰囲気の中、今も750年前に道元によって定められた厳しい作法に従って禅の修行が営まれています。

直行バスで 60分

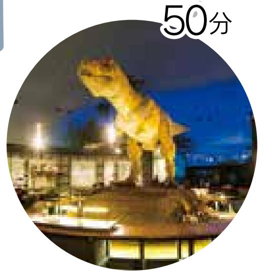
永平寺までの直通バス情報

えちぜん鉄道情報

石川県九谷焼美術館

山中温泉こおろぎ橋

加佐の岬



福井県立恐竜博物館

広大な無柱空間には、所狭しと恐竜骨格や化石・標本、ジオラマ、復元模型などが展示されており、大迫力の恐竜を間近で見ることができ、大人も子どもも楽しんでいただけます。

車で 50分

京福バス情報

加賀越前ガイドタクシー情報

飛騨高山

出格子の連なる軒下には用水が流れ、町家の大戸や老舗ののれんが連なっています。飛騨牛コロッケ、飛騨牛串焼などの食べ歩きなども楽しみ。

加賀温泉駅から金沢駅へ金沢駅よりバス乗換 165分

白川郷・高山への高速バス情報

加賀温泉郷から直通！
永平寺お出かけ号

加賀温泉郷から永平寺へ直通の「永平寺おでかけ号」。1日1往復運行。山代からは3カ所の停留所より乗車でき約60分で永平寺へ到着。完全予約制で前日の18:00までにご宿泊旅館のフロントでご予約し乗車券を購入しておきましょう。

料金／片道900円
[小学生以下(12歳未満)は無料]
※但し予約が必要です
※ご利用は山代温泉旅館組合加盟旅館にご宿泊のお客様に限ります。

CAN BUS 山代に泊まって楽しむ
キャン・バスで加賀周辺。

加賀温泉駅を起点に加賀温泉郷の見どころを巡回運行するのが加賀周遊バスの「キャン・バス」。3つのルートがあり、乗り降り自由！お好きな目的地を組み合わせてプランを組んでオリジナルの旅が楽しめます。

[チケットの主な取り扱い場所]
加賀温泉駅構内KAGA旅・まちネット、各旅館フロント

大人
1日券1,100円
2日券1,300円

小学生は大人料金の半額。
※身障者手帳をご提示されますと半額。また、1種の場合は同伴者も半額。

スキージャム勝山

白山白川郷ホワイトロード

東尋坊

立山黒部アルペンルート

古総湯を真ん中に、ぐるり「湯の曲輪」をそぞろ歩く。

「湯の曲輪」とは

江戸時代の温泉場は共同浴場を中心としてまちが作られていました。共同浴場の周りに温泉宿が立ち並び、湯治客は共同浴場に通ったり、時には自然の中を散策しながら長逗留していました。この共同浴場が「総湯(そうゆ)」です。そして総湯を中心とした周囲の街並みを「湯の曲輪(ゆのがわ)」といい、北陸特有の呼び方となっています。日本の温泉文化を正しく伝え、温泉地の原風景が今も残っています。

山代温泉ゆるキャラ「やましろ すぱクロくん」

一羽のカラスの出会い

約一三〇〇年前の神亀二年(725年)に行基という名の高僧が霊峰白山へ修行に向かう途中、一匹の烏が羽の傷を癒している水たまりを見つけたのが今に受け継がれているという山代温泉。この故事に登場する烏が、古事記や日本書紀にも出てくる伝説の霊長、三本足のヤタガラスです。

古総湯

平成22年、湯の曲輪に誕生したのが「古総湯」。外観や内装だけでなく、入浴方法など、明治期の雰囲気を味わい、入浴しながら山代温泉の歴史や文化が体験できます。 歴代の総湯の中でも、最も印象的で温泉情緒が感じられる建物で、2階は湯上がりに涼むことが出来るようになっており、浴室の床や壁には九谷焼のタイルが使われています。

総湯

加水なし源泉のみで、浴槽の湯は毎日入れ替えて清掃しています。吹抜けの天井には大きな天窓があり清々しい気持ちにさせてくれます。壁面には地元九谷焼作家による手描きタイルが貼られ、多彩な絵柄を楽しめます。売店もあり「温泉玉子ソフトクリーム」などが人気です。

魯山人寓居跡 いろは草庵

大正時代の一時期、山代温泉に滞在していた異色の総合芸術家と呼ばれた北大路魯山人、一心に看板を彫った仕事部屋や、書画に没頭した書斎、さらには山代温泉の旦那衆と交流を深めた囲炉裏の間などが、魯山人の人となりと才能を今に伝えています。

はづちを楽堂

風情豊かな紅殻格子が印象的な建物の中には、オリジナルの甘味が味わえる「はづちを茶店」、九谷焼の小物・雑貨が揃っている「丹塗り屋」があり、湯の曲輪に欠かせないスポットとなっています。

九谷焼再興の地

日本を代表する色絵磁器、九谷焼。その歴史は、加賀・大聖寺藩の命により1650年頃から石川県九谷村で焼かれた「古九谷」にさかのぼります。他に類を見ない名品を残した古九谷ですが、その謎の廃窯の後、百数十年の時を経て、「吉田屋」によって九谷焼が再興されたのが、ここ山代温泉なのです。温泉情緒あふれる街並みを散策しながら、そんな芸術の香りを楽しめるのも、山代の魅力です。

A 立ち寄り入浴
宿泊しなくても気軽に利用できる各旅館の温泉施設(有料)。お泊まりの宿以外でもぶらり湯めぐりをできるのも温泉地ならでは。

B 薬王院温泉寺
山代温泉を発見した行基が温泉守護のため、薬師如来などを彫ってお堂を建立したのが薬王院温泉寺の創建。地元では「お薬師」さんとして信仰を集めています。秋は境内の紅葉が見どころです。

C 服部神社
石段を上り幹周りが6メートルの巨樹たちが、百段を数える石段の両脇にそそりたつ。冬は白く雪化粧した景色も神秘的で美しい。正面鳥居のそばにある「一言地蔵」はお願いを一言だけ聞いてくれるお地蔵さまです。

D 女生水・男生水
女生水と呼ばれる湧き水は奥の正面に地蔵尊が安置されています。旅館に働く女衆の水汲み作業の往来でにぎわっていた事から、何時からか女生水と呼ばれるようになりました。

E 源泉・足湯
温泉街の中心部、総湯のすぐ近くにある足湯は岩の上に立つ八咫烏(やたがらす)の像が目印です。山代街めぐりの際には是非立ち寄って歩き疲れた足を休ませてください。ホッと落ち着く癒しのスポットです。

F まちなか案内所「いっぷくや」
メインストリートである温泉通りの中程にある観光案内所。近隣施設のパンフレットやちょっとしたお土産品を陳列、販売しており、お気軽にお立ち寄りいただけます。イベントがある時は、受付やゴール拠点にもなります。

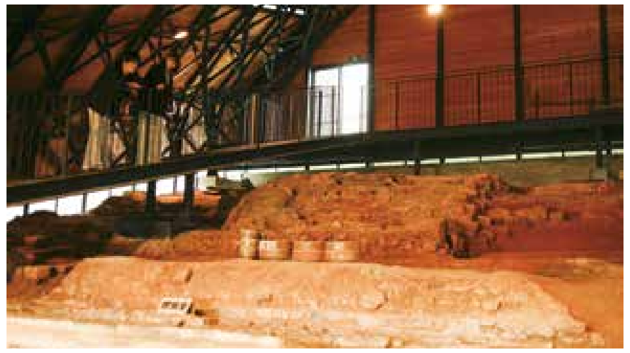
G レンタサイクル&温モビ
広域に山代をめぐりたい!そんな方はレンタサイクルまたは公道を走行できる2人乗りニューコンセプトカー「温(ぬく)モビ」で快適にめぐりましょう!

レンタサイクル(電動アシスト)/3時間500円
温モビ/1時間1,600円
3時間3,300円

九谷焼窯跡展示館

遠く江戸時代に思いを運んでくれる、まさに巨大な窯跡。ここに、じっとたたずんでいると、その昔に古九谷の再興に賭けた人々の熱い浪漫が伝わってくるようです。ろくろ体験や絵付けも楽しめますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

吉田屋　椿図六角鉢
(加賀九谷陶磁器協同組合蔵)



九谷焼体験ギャラリーCoCo

地元の若手工芸作家の作品を展示・販売。プロの絵付け作家に教えてもらいながら絵付け体験もできます。観光案内パンフレット、温泉グッズ等も取り揃えていますのでぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

- 絵付け体験/1,500円~(送料別途700円必要)
- 営業時間/9:30~17:30(絵付け体験受付は16:30まで)
- 定休日/木曜日
- TEL/0761-75-7116

北陸の四季折々に、湯のまちの「祭りびと」となる。

菖蒲湯まつり

■6月4日／入湯式祈願祭・入湯式（菖蒲みこし）
6月5日／山代音頭輪おどり

一年の無病息災を祈願し、菖蒲神輿（しょうぶみこし）をかつぐ若者たちが「お薬師さん」と呼ばれる薬王院温泉寺から出発。高張り提灯を先頭に、菖蒲神輿がもみあいながら湯の町を練り歩きます。お祭り期間中は、古来から邪気を祓うと伝わる菖蒲の香りが、街中いっぱいに広がります。

桜の季節に訪れたなら
山代温泉のサクラの名所は多数あります。大堰宮公園、萬松園、真弧ヶ池、桔梗ヶ丘広場など。桔梗ヶ丘広場には、「山代の　いでゆめでたし山山が　つらなる雪の　はらからのごと」と読んだ与謝野晶子の歌碑もあります。

山代大田楽（だいでんがく）

■7月末～8月初旬
中世に大流行したという謎の芸能「田楽」を日本各地の芸能や音楽を取り込み、野村万之丞氏が現代によみがえらせた「大田楽」。夏の夜空に響き渡る神秘的な笛の音とかがり火を背景に、奇抜な衣装をつけた人々が躍動感あふれるリズムと踊りを繰り広げます。

八朔まつり
■9月1日
■場所／服部神社
服部神社の境内で奉納舞された大獅子が町内のあちこちを練り歩き、社殿では平和を祈る浦安の舞を奉納。五穀豊穣を祈願し感謝を奉げます。

秋の薬王院温泉寺
■11月頃
■場所／薬王院温泉寺
紅葉のスポットとしても有名な薬王院温泉寺。真っ赤に染まる紅葉は山代に冬支度を知らせてくれるかのようです。

山代温泉イベントの
最新情報は公式HPを
ご覧ください

アリャサノヨイヤサ～

夏まつり
■毎年8月上旬～下旬
温泉街のあちこちで様々な催しやイベントに出会える夏まつり。道ばたの露店やお楽しみ抽選会など楽しさ満載です。

やましろカニまつり
■11月上旬
■場所／山代温泉九谷広場
漁の解禁を記念して、カニ鍋、朝ゆでカニ即売会、地元の物産等を販売します。

Yamashiro アートマーケット
■夏～秋頃
■場所／山代温泉通り商店街
工芸作品の販売や、ワークショップ、祭りの賑わいの飲食ブース、ステージイベントなど、盛りだくさんにお楽しみいただけます。

もてなしが隠し味、美味しい「やましろ」をいただく。

地物のズワイガニ(雄)が
いただけるのは11月から3月まで

秋冬は北陸の食の極み

山代よりほど近い北前船でも有名な橋立港。四季を通じて新鮮な海の幸が水揚げされるので鮮度抜群の魚介を各旅館でいただけます。
旅館の板さんが特に腕を振るうのが日本海の目玉・カニ漁が解禁される十一月から、寒さ厳しい冬の季節。
加賀・橋立港で揚がるズワイガニなどの地物はもちろん、日本海で獲れた寒ブリ・甘海老・ノドグロなどの冬の味覚が豊富に揃うこの時期が海の幸のベストシーズン。
全国の食通たちが冬に北陸へ足を運ぶのはうなずける話です。

ぶりしゃぶ

石川県産タグ付きズワイガニ

海鮮丼

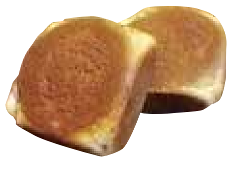
甘海老

海の幸だけじゃないやましろスイーツにも注目

山代土産の代名詞のひとつ、古総湯の前にある老舗菓子店・れん永昌堂の「れんの羊羹」。
文政二年創業の老舗羊羹本舗が、小豆・寒天・砂糖のみの自然素材で作る羊羹は後味スッキリ、程よく上品な甘味が特徴です。
地元にも根強いファンが多いのは何よりの美味しい証拠。
他のお菓子屋さんでも山代や温泉に因んだ個性豊かなお菓子が揃っており食べ比べるのもいいかも。
その他、ランチや郷土料理を頂けるお店もあるのでチェックしみてはいかがでしょうか。

絞りたてモンブラン -五郎島金時-
お客様からのご注文後に絞り上げるモンブランクリームは見た目にも華やかで上品な口どけ。
■Monta-Yu（モンターユ）／9:30～17:00
定休日：木曜日

れんの羊羹
代々頑なに家伝の製法を守り、技を磨き抜いてきた山代温泉名物の煉羊羹です。
■れん永昌堂／8:00～18:00
定休日：正月元旦・2日のみ



六方焼
卵と蜂蜜のみの水分で煉った生地にあんを包み焼く製法は先祖伝来の手作り。大量には作れないので予約しておく方が確実ですよ。
■六方焼 惣八／8:00～18:00
定休日：火曜午後・水曜

はづちを茶店の加賀パフェ
「クリーム白玉ぜんざい」「草餅ぜんざい」「はづ団子」「加賀パフェ」など。山代散策の休憩ポイントにもどうぞ。
■はづちを茶店／9:30～17:00
定休日：水曜（祝日の場合営業）

加賀カニごはん
橋立港で水揚げされた香箱ガニを丸ごと一匹使った加賀市の新・ご当地グルメ。「割烹加賀」でいただけます。（食数限定のため要予約）
■割烹加賀／11:30～14:00、夜 17:00～22:00
定休日：月曜夜・火曜　TEL.0761-76-0469

米と米麹だけで造られた、
後口の軽やかなお酒です。

純米酒やましろ
地のものにはやっぱり地の酒がよく合う。
米や水まで山代の酒店組合がとことん地元産にこだわって作った純米酒。街中の酒店で1,574円（税込）[4合・720ml]にて販売中。

温泉たまご
じっくりと源泉に浸けて作るので温泉成分がしみ込み風味ある美味しい温泉たまご。
■総湯売店／7:00～19:00
年中無休

柿の葉寿司
柿の葉にすし飯、しめ鯖、桜海老、針生姜、紺のりなど盛りつけた郷土料理。
■宮泉／前日19時迄に要予約
TEL.0761-76-1511